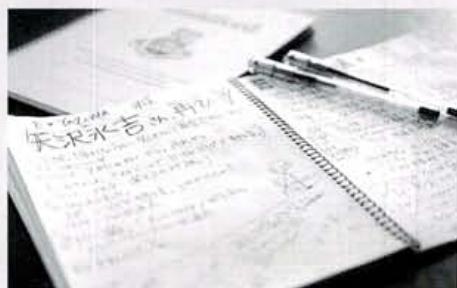




川原ちかよ
KAWAHARA CHIKAYO

6月3日京都市生まれ。学生時代からα-STATIONでADとして働く。ある深夜番組に出演したところ、大阪の深夜局からDJオーディションの説明を受けた。1996年、DJデビューを果たす。

エスト番組なので、リスナー真剣との関係が大切です。彼らの悩みをアート的に受け止めあげようつて、いつも思つてます。下は11歳と、かなり若い人が多いんですね。けど、「2年経つたら平気になる」とか「分かる、分かる!」って軽く流したくない。私のときはこうやつたけど、今はどうなからかなん?とか、自分の体験談を語つたり。「電車の向かいにへんな人が座つてて友達に電話するわけにもいかないからメールした」つてメッセージとかありますよ(笑)。だから、オシャレとかザ・E.Mつてトーケは考えてなくて、カリスマDJになれなくてもいいと思ってます。気軽に親しみを持つてもらえれば十分。そのためにも、「知つたかぶり」はなしにし、リスナーさんたちとは真っ直ぐ向き合つていたいんです。



DJ's Favorite Item

「深夜のラブレターを見られるより恥ずかしい(笑)」というリングノートは、ストップウォッチに次ぐ必須アイテム。インタビュー前に、アーティストについての思いを書き綴ったもの。前夜、ベッドで「一人ラジオ」をする中で思いついた質問や、気になる歌詞、暗号のような言葉が並んでいる。「川原ちかよ語録」が満載。

◎ STATION
FM KYOTO 89.4

SPECIAL INTERVIEW



電波にのせる真っ直ぐな言葉には
あつたかい愛が溢れている

いくつもの縁に支えられて

局でバイトを始めたきっかけは、局前のコンビニでバイトしてたから。オーナーが後に買い物に来るスタッフと仲のいいおばちゃんが、「うちの子がハイタットしたいって言うてるんよ」とて(笑)。入って担当したのがキヨビーの番組で、よくほん食べにいったりおしゃべりしたり。私はその頃からドラマオタクで、一度見たらいたいのセリフが覚えられる特技を持っていて、キヨビーが見逃したドラマの再現をやってました。そしたら、深夜番組の出てみないかつて言われて、その収録を見たプロデューサーの方に大阪の放送局のオーディションの話をいただいて…。気づけばDJになってしま

た(笑)。来る波に逆らわす身を任せて10年、本当にいろんな人に助けてもらつてます。こんなにも他力本願でやつてきてる人も珍しいんじやないかって思いますよ(笑)。

人生最大のピンチ

事務所に所属することなく、いきなりフリーのDJになつたので、最初の3年はワケの分からぬまま突っ走つたつて感じですね。5年目くらいまでは「ああ、また今年もDJができる」つて毎年思つてました。やつと、周りを見渡せる余裕がでてきて、それまで怒られてきたことの真意や、やってきたことの意味なんかが解つてくるようになつて、そうするとフレッシュヤー

Kawahara Chikayo

リスナーとのコミュニケーション

も倍増。頑張りすぎて、過労とストレスで病気になってしまった。復帰できるかどうかは分からず、ラジオを聴く気持ちにもなれなくて、捻くれてた時期。待つてくれるスタッフさんや友だちの応援に、帰る場所があるから早く治そうって思つてはいたけれど、ラジオにあたたかみを感じることができない。でも、番組改編で担当していた番組が終わるとともあって、半ば無理矢理に復帰。そしたらリスナーさんが私が大ファンの「THE YELLOW MONKEYのLOVE LOVE SHOW」を揃つてリクエストしてくれたんです。ファンサイトで呼びかけてくれたからしくって。もう、ピッククリするやら、嬉しいやら。こんなふうにラジオでコミュニケーションが取れるんだなあって再確認して、仕事に対する気持ちが変わりました。



STARDUST PARADE

毎週月～金 22:00～24:00

DJ:マツモトアキノリ(月~木)、川原ちかよ(金)
J-POPのヒットチューンを中心に、話題のポップスをセレクトしていく青春リクエストプログラム。遊び心いっぱいに「同世代の今」を伝えてくれる。月曜~木曜はマツモトアキノリさん、金曜は川原ちかよさんが楽しく「スタバレ・ウィークエンド」として、人気のJ-POPアーティストインタビューや最新情報もちらりばめてお送りする2時間。